

1

未来社会でリーダーとして活躍する人材の育成



愛媛県立松山西中等教育学校

松山西中等教育学校は、「どのような児童に入学してほしいと考えているのですか。」という御質問をよくいただきます。そこで今日は、本校の3つのポリシーについて説明します。

2

愛媛県立松山西中等教育学校の3つの方針

ポリシー

- 1 アドミッション・ポリシー(AP)
こんな児童を求めています
- 2 ディプロマ・ポリシー(DP)
こんな人に育てます
- 3 カリキュラム・ポリシー(CP)
こんな教育をします



3つのポリシーとは、「①どのような児童を求めているのか。入学した生徒を ②どのような人に育てたいのか。そして、そのために ③どのような教育をするのか。」の3つの方針を意味します。

3

ポリシー 3つの方針

1 アドミッション・ポリシー(AP) こんな児童を求めています

- (1) 夢や目標に向かって、挑戦することができる人
- (2) 課題をきちんとやりとげることができる人
- (3) 自分だけでなく、他の人も大切にできる人
- (4) 他の人の意見や助言をすなおに受け入れられる人



本校が求めているのは、夢や目標に向かって挑戦する人。課題をきちんとやりとげることができる人。自分も他人も大切にできる人。そして、他の人の意見や助言をすなおに受け入れる人です。

4

ポリシー 3つの方針

2 ディプロマ・ポリシー(DP) こんな人に育てます



世界に向かってはばたく人、日本を舞台に活躍する人、地域のためにがんばる人。自ら進んで考え、決断した様々な場面・分野において、リーダーとして、またフォロワー(支える人)として、活躍できる人に育てます

そして入学した生徒を、将来、世界や日本、あるいはそれぞれの地域など、自分が決めた舞台上で、リーダーとして、またそれを支える人として活躍できる人に育てたいと考えています。

5

ポリシー 3つの方針

3 カリキュラム・ポリシー(CP) こんな教育をします

- (1) グローバル社会において必要な学力や思考力などを養います
- (2) 豊かな人間性や社会性を育てます
- (3) コミュニケーション能力の育成を図ります



そのために本校は、グローバル社会において必要な学力や思考力を養うこと、豊かな人間性や社会性を育てること、そしてコミュニケーション能力の育成を図ることに力を入れています。

6

3 カリキュラム・ポリシー(CP):こんな教育をします

- (1) グローバル社会において必要な学力や思考力などを養います



高い目標

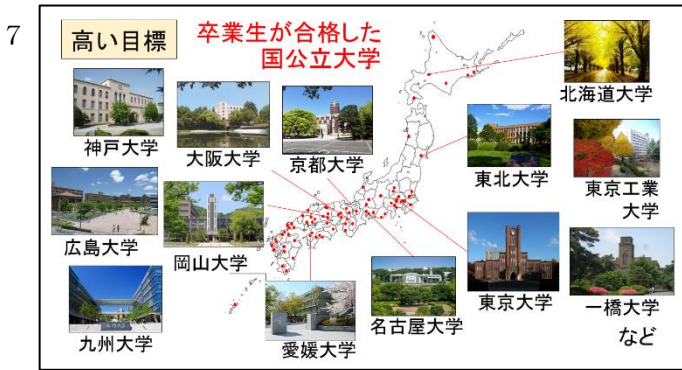


伸びる学力

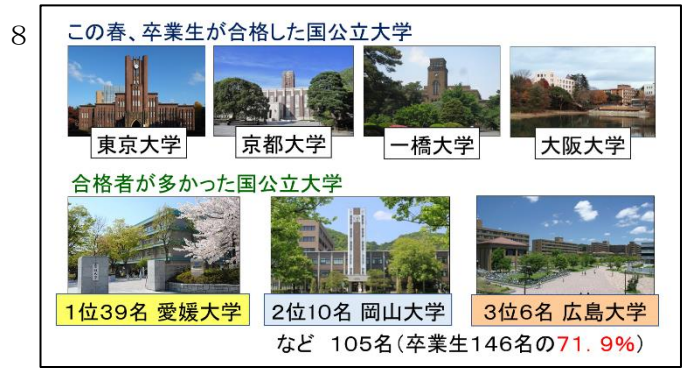


グローバルな思考力

1つめの学力や思考力などを養うために力を入れていることは、この3つです。今日はこのうち「高い目標を持たせる」と、「学力を伸ばす」ための取組について説明します。



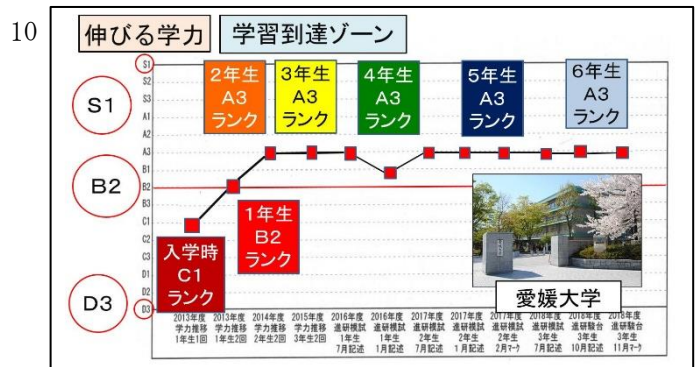
これまで本校の卒業生の多くは、このような全国各地の国公立大学へ進学していきました。



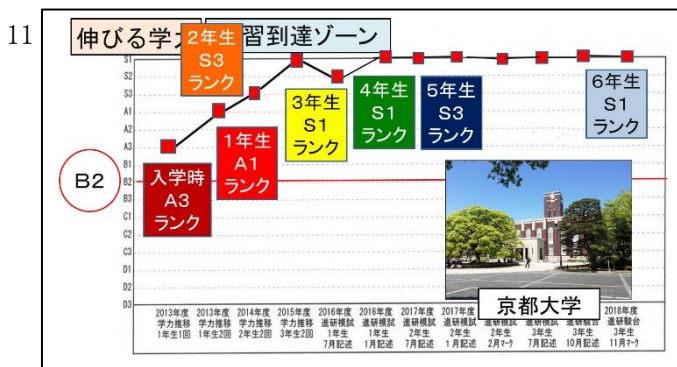
この春には、このような国公立大学へ多くの生徒が現役で合格しました。一番合格者が多かった愛媛大学には3名の医学部医学科生も含まれています。



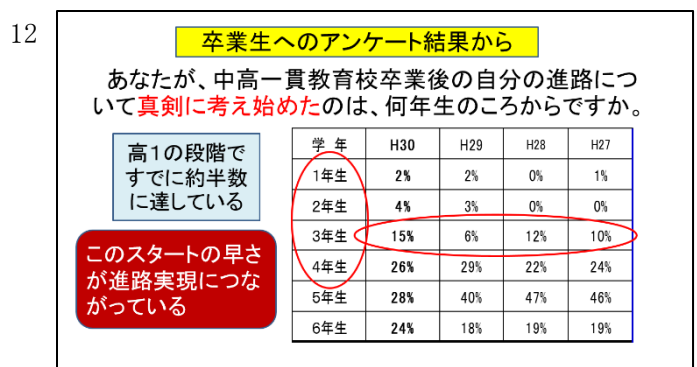
本校は、毎年7割近くの生徒が現役で国公立大学に合格しています。その合格率の高さは、一昨年、週刊誌で、西日本3位の学校として紹介されました。今年も、その時の合格率を上回っています。



学習到達ゾーンとは、生徒の習熟度を表すものです。入学時はC1（国公立大学のボーダーラインはB2）だったこの生徒は、入学後、成績を伸ばして愛媛大学へ進学しました。



この生徒も、大きく成績を伸ばして志望校だった京都大学へ進学しました。全国には偏差値が高い学校は、たくさんあります。しかし、本校ほど入学した後、生徒が伸びている学校は、あまり多くはないのではないかと考えています。



3年生から卒業後の進路を真剣に考える人が急増しています。4年生の段階では、その数は約半数に及んでいます。この「スタートの早さ」が現役合格率の高さに結びついています。

※中1～中3生を1～3年生

高1～高3生を4～6年生と呼んでいます。

13



3年生は、全員が愛媛大学を訪問して、研究室などを案内してもらいます。「大学で学ぶ」ことの意味や意義を知ります。

14



希望者は、夏休みに行われる大学訪問研修に参加できます。どの大学でも、卒業した先輩たちが案内してくれます。襟とスカートが紺色の女子生徒は3年生です。たくさんの生徒が積極的に参加して、高い目標を持つようになっています。

15



3年生からは合同学習合宿にも参加できます。夏は真剣に勉強する6年生の姿に刺激を受け、春には合格した先輩たちの体験談を直接聞くことで、勉強に対する意欲が上がります。

16



2つめの豊かな人間性や社会性を育てるための取組の中心は、学校行事と部活動、そして優れた人権感覚を養うことの3つです。今日は「学校行事」と「部活動」について説明します。

17



6学年が一体となる学校行事のスタートは、春の入学式です。全校生徒参加で行われます。入学したその日から、6学年一緒にの学校生活が始まります。

18



夏。野球応援。「坊っちゃんスタジアム」で試合が行われる時は、全校応援をします。1～6年の全校生徒が、母校のために心を一つにする、熱い1日です。

19



秋。運動会。6学年を縦に4グループに分け、生徒の身長を遙かに超えるパネルの前で競技や応援合戦がくりひろげられます。9月7日(土)に一般公開します。生徒も教員も燃える様子をぜひ、御覧ください。

20



冬。センター試験前日、6年生に、後輩たちが1羽ずつ折った千羽鶴でつくったお守り「五鶴＝合格」を渡します。1期生の時から続く中高一貫教育校ならではの行事です。

21



再び春。卒業生の全員が、一人ひとり校長から卒業証書を手渡されます。6年間で培った絆の深さを生徒も教員も実感する日です。

22



文化祭。レベルの高い展示や優れたパフォーマンスだけでなく、中学生も模擬店を出します。来年の3月14日(土)に一般公開します。生徒たちの生き生きとした姿を御覧ください。

23



部活動は、自由参加です。しかし、入部率は非常に高く、ほとんどの生徒が部活動を行っています。6年間途切れることなく活動できることを生かして、素晴らしい成績を残しています。

24



運動部は、毎年、県高校総体に100名以上の選手を送り出しています。今年は、今、地区予選が行われている水泳部を除いて116名です。1学年の生徒数160名に比べても多いと思います。

25

6年間の継続で成果をあげる部活動

全国大会常連の芸術・文化活動



俳句甲子園 (全国大会)

書道パフォーマンス

文化部の部員数

吹奏楽部	95名
美術部	36名
書道部	29名
放送部	27名
国際文化・文芸部 (俳句部門)	28名
茶道・華道部	20名
科学・情報部	50名

文化部の活動も盛んです。部員数もこのように多く、活発に活動しています。全国大会やコンクールなどに常連の部もあります。
※国際文化・文芸部のなかに俳句部門があります。

26

3 カリキュラム・ポリシー (CP): **こんな教育をします**

(3) コミュニケーション能力の育成を図ります



語学力の育成

プレゼンテーション能力の育成

3つめのコミュニケーション能力の育成を図るための柱となるのが、語学力とプレゼンテーション能力の育成ですが、今日は「語学力の育成」について説明します。

27

語学力の育成

1 英語キャンプ (前期課程)



生の英語に触れる絶好の機会です

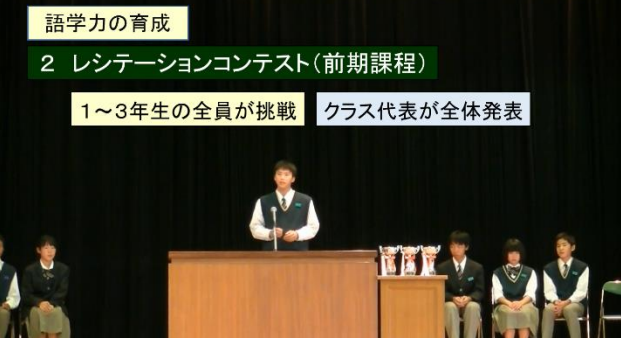
英語キャンプには、2年生から誰でも参加できます。たくさんの外国人の先生に協力してもらっており、生の英語に触れる絶好の機会となります。

28

語学力の育成

2 レシテーションコンテスト (前期課程)

1~3年生の全員が挑戦 クラス代表が全体発表



レシテーションとは英語の暗誦です。全国大会もあります。1年生から3年生までの全員が挑戦し、クラス代表が全員の前で発表します。3年生になると、表現力が格段に豊かになります。

29

語学力の育成

3 各種英語検定に学校ぐるみで参加


数値目標

前期課程修了時、英検3級合格 100%

- 平成30年度 90%

5年生終了時、英検2級以上合格 40%

- 平成30年度 39%
- うち準1級6人



開校以来、英語力を伸ばすために、数値目標を設定して、学校をあげて各種検定に臨んでいます。

30

学校説明会	学校見学会	授業体験講座
		
6月7日 (石井公民館) から 7月3日 (松前 総合文化センター)	7月22日 (月) から 7月26日 (金)	9月28日 (土)

他にもたくさんの取組を行っています。今日、話せなかったことは、これから始まる学校説明会や見学会などで説明します。ぜひ、御参加ください。お待ちしております。



昨年の運動会の最後に、6年生がサプライズで横断幕を掲げました。書かれていた文字「心に描いた夢は必ず実現する～やりきれ11期生～」は、学年主任が生徒たちに言い続けた言葉でした。

部活動にかける思い

平成 29 年度松山市中学校総合体育大会にて



今シーズンは市・県総体で男女総合優勝、四国大会に14名が出場しました。大会で最高の結果が出せるように、チーム一丸となって頑張っていきたいと思います。(校誌『久万の台』第43号より)

平成 28 年度愛媛県高等学校総合文化祭開会式にて



辛い時もずっと支えてくれる家族、みんながいるから踊ることができます。この感謝の気持ちを持ち続け、これからも「心作り・体作り・作品作り」に励んでいきます。(校誌『久万の台』第43号より)

平成 29 年度俳句甲子園全国大会にて



俳句甲子園全国大会では、ベスト4という結果を残すことができました。しかし達成感よりも悔しさが強く心に残っています。あなたも「革命の瞬間」を共に果たしませんか。(校誌『久万の台』第42号より)

平成 30 年度全日本吹奏楽コンクール四国大会にて



昨年に引き続き全日本吹奏楽コンクールで県大会金賞・四国大会銀賞という結果を残すことができました。皆様方への感謝の気持ちを常日頃忘れず、これからも部活動に励んでいきたいと思っています。

(校誌『久万の台』第43号より)